

夏の日差し・熱から内部機器を守る

暑熱対策 屋外盤 『COOL分電盤』

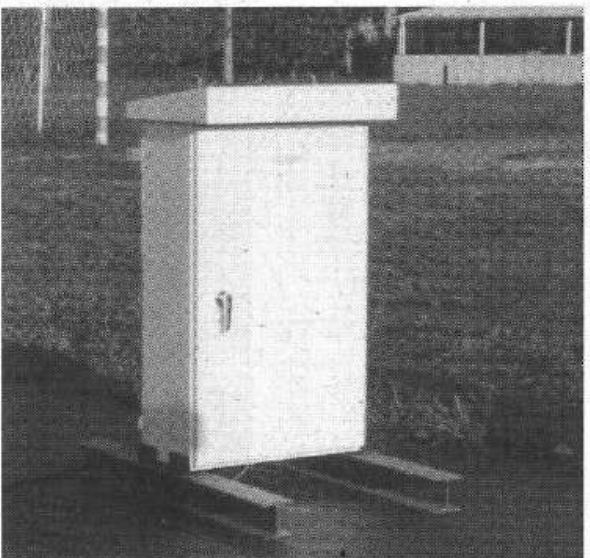
セイリツ工業

セイリツ工業（大阪市平野区加美正覚寺四一七―四五、☎〇六一六七九四―八八七二）は、三月十六日～十八日まで東京ビッグサイトで開催された「脱炭素経営EXP O」で、暑熱対策屋外盤「COOL分電盤」を紹介し、注目を集めた。

風雨に晒される野外に設置される分電盤に内蔵される電子機器は熱に弱く、高温になると機能や寿命に影響が出る恐れがあった。

また、従来の分電盤のケースには鋼板を素材に用いていたが、鋼板は経年により錆・腐食が発生し、放置しておくと腐食箇所から雨水などが侵入し、内部の精密機器の破損を引き起こしてしまう。他、海沿いの地域では塩害により錆の進行が加速するなど様々な問題が指摘されてきた。

同社の提供する「COOL分電盤」は、高耐食溶融めっきを施した鋼板



COOL分電盤

とSPACECOOLを組み合わせて分電盤のケースを構築し、こうした問題を解決する暑熱対策屋外盤となっている。

SPACECOOLとは、大阪ガス㈱が開発した放射冷却素材のこと。熱をマイナス270℃の宇宙空間に逃がすことにより、直射日光下でエネルギーを用いず周囲より温度を低下させる機能を有している。

また、耐久性も極めて高く、現在までの試験で

の破損を防止し、維持コストを削減②使用電力の削減③冷却機器のメンテナンスとコストを削減④省スペース⑤冷却機器が不要になり盤内スペースを確保する――といったメリットをもたらす。

従来の分電盤と各々異なる暑熱対策を施した分電盤、COOL分電盤を屋外に並べて内部温度を計測する実証実験を行った所、COOL分電盤は従来品と比べて最大8℃の温度低減効果があることが判明した他、内部に発熱体がある場合でも一般

の塗装仕様の分電盤と比べて最大5℃の温度低減効果を確認。さらに、遮熱塗料や遮光板といった一般的な暑熱対策が施された盤と比較しても温度が低くなることが実証されている。

https://www.seiritsu-k.co.jp



屋外での実証実験状況